

令和4年第2回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年2月15日(火)

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘教育総務課長、吉野博美課長補佐、山家一博学校教育専門監

5 開 会 午後2時

6 令和4年第1回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長(委員全員に諮って)承認する。

一盃森委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告について

なし

(2) 専決事務報告

報告第1号 専決処分の報告について

(令和3年度大河原町一般会計補正予算(第10号))

鈴木教育長(委員全員に諮って)可決する。

8 議 事

議案第1号 県費負担教職員の異動等の内申について(非公開)

鈴木教育長(委員全員に諮って)可決する。

議案第2号 令和4年度大河原町教育重点施策について

一盃森委員	外観がだいぶ老朽化していると感じていたので修繕計画をするのは良い。植栽の剪定も計画的にした方が良いのではないかと。
舟山委員	パークゴルフの整備について。洪水の時はどうするのか。
吉野課長補佐	最低限の被害で済むように事務所は高いところに設置予定。
鈴木教育長	パークゴルフの計画は予算も含めてこれから計画していく。
一盃森委員	年3回の学力テスト。来年は2学期制にするが、10月の後半から12月に気

	が揺るんでしまうのではないか。その期間を、集中的に取り組ませる時期にしてはどうか。2学期制の懸念事項が無くなるのではないか。
山家 専門監	そのとおりと感じる。来年度は、そうなるように取り組んでいきたい。
丹羽 委員	定期テストがなくなっても、学力向上した例がある。単元テストが効果的。
小山 委員	定期テストは2回ではなく、4回になるのではないか。
山家 専門監	当初は2回とは聞いていたが、4回も検討していると聞いている。
小山 委員	仙台大学との連携は、金小、南小にも増やしていくとなっているが、中学校にもできないのか。
山家 専門監	まずは、大河原小学校からの基礎体力の強化をし、来年度は南小学校、金ヶ瀬小学校にも広げる。
鈴木 教育長	仙台大学からの学生が5日位、中学校に教えてくれている実績はある。現在は、無償だが、今後は、有償になっていくのではないのか。
一盃 森 委員	以前大学生を中学校の支援に来てもらったことがあるが、学校までの交通手段の確保と、保険が課題になった。
鈴木 教育長	(委員全員に諮って) 可決する。

議案第3号 昆虫標本維持管理会計年度任用職員の任命について

鈴木 教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第4号 大河原町駅前図書館事務補助員の任命について

鈴木 教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

教育長報告

1 防災教育

(1) 「最悪を想定備え促す」(河北新報)

(2) 「これからの防災・減災がわかる本」(河田恵昭)

小中学生向けの本であるが、大人が読んでも良い本。大河原町の河川堤防を高くすれば、洪水に備えてよいのではないかと考えていたが、高くすればするほど、決壊した時の被害は大きくなるし、他の流域の町にも影響がでる。経済的に効率的な安全な方法を考えていかななくてはいけない。都市部では地下鉄の浸水など。自助や自主防災組織は最初は行政に頼るが、災害を受けると、自分達でしなくてはいけない意識が変わってくる。自主防災組織は組織の人がケガをしないで、長く取り組める組織であるようにしたいといけない。大中の自主防災組織についても、工夫を加えながら長期的に継続していく取組になるとよい。

2 対話的学びー「続 教師の話し方・聴き方」(石井順治)

教師の話は長い。話すより聞きくことで、新たな気づきを生むものである。

3 ICT「一人一台の端末等の効果的な活用について

大河原町でも効果的に利用していくために、研究、工夫が必要。教育委員会として、情報教育をどのように進めていくか、研修をどう深めるか、膨大な資料をどのように束ねる等が必要になる。

4 英語力ー令和3年度 IBA リーディング・リスニングテスト

国では中学校卒業時には英検3級レベルの学力が50%くらいにしたい。実際は40%。この調査は中学2年生で25%。今度どんどん伸びると思うが、底上げを図る必要がある。今後、学力テストに英語加わるので、力が発揮できるようにしたい。

5 不登校児童生徒等への対応

今年、大小に学び支援教室が設置されたが、若干減ったような感じがする。来年度、大中にも設置予定で、中学校も不登校が減少するのではないか。

6 発達障害のある子供「二次的な障害」

不登校の子供の2次被害に心を痛めていた。不登校生徒の4割くらいに発達障害をかかえており、少し自由度の高いその子が持っている特性にあった 学校が子供に合わせる場も必要になってきている。広島県では不登校の子にオンラインでクラブ活動をしている。興味のあることでコミュニケーションをとって人と関わりを持っている

7 部活における「全員参加」から「任意参加」へ

「教育課程外の教育活動と教育課程の関連」(中学校学習指導要領解説)

部活動の意義などを考えると、強制ではなく自主的な参加でなければいけないのではないか。来年度から大河原中学校では、任意参加とする。金ヶ瀬中学校はどうするのか。小規模の学校なので加入しない生徒が多くなる懸念もある。岩沼市や村田町ではすでに任意加入を取り入れている。部活動の趣旨に乗っ取った加入のさせ方を試行しているということなので応援していきたい。

8 人事について(予定)

教職員の異動について3月25日(金)朝刊にて発表。

9 その他

- (1) 大河原南小と蘇州工業団地東延路実験学校とのオンライン交流
- (2) 大河原南小「スポーツマンシップ教育」
- (3) 大河原小学力向上中間公開研究会
- (4) 金ヶ瀬小指導主事D訪問

舟山委員	大中の部活動の任意参加は、校長先生の英断だと思う。良い方向に向かうとよい。
一盃森委員	英断だと思う。かつては、生徒指導もあって、朝練等あったが、本来の学校教育としての部活があった。現在は、クラブが全盛になってきた。中体連は、管内の交流大会でよいのではないかとずっと思ってきた。
小山委員	外部団体所属部もなくなるのか。
丹羽委員	昔から、部活が嫌で休む子もいたので、良いのではないか。小学校から対話的学びをしていると、いじめが無くなるのではないか。子供は、親や先生にいじめられていることを言いにくい。
舟山委員	研究授業で、子供達の鉛筆の持ち方が気になった。ITが進化しても、ペンを持つ文化は変わらないのではないか。
一盃森委員	初等教育資料の中で、ICT支援員の予算はついているのか。大河原小学校のオンラインについては、支援員がいるのでできたのではないかと思う。継続して支援員が入らないと、たどりつかないのではないか。
舟山委員	学校規模で支援員が配置されるとよいと思う。
一盃森委員	学び支援は良いと思う。保護者の理解と、手続きはどのようになるのか。カリキュラムはどのようになるのか。学習障害など、難しい。
鈴木教育長	保護者からは、文書により了解を得ている。支援計画を作るように指導をしているが。

(2) 課長報告

教育総務課長

学校の新型コロナウイルス感染症について

令和4年度定例教育委員会日程について

行事予定・卒業式、入学式の出席について

生涯学習課課長補佐

行事予定について

学校教育専門監

標準学力調査の結果について

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年3月23日（水）午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時15分

令和4年3月23日

署名委員

署名委員